

令和5年 営業戦略農林水産委員会
閉会中委員会資料
諸般の報告

	(頁)
1. 県内養鶏場で発生した高病原性鳥インフルエンザへの対応状況	2
2. 価格高騰対策について	4

令和5年2月14日

農 林 水 産 部

諸般の報告

(1) 県内養鶏場で発生した高病原性鳥インフルエンザへの対応状況

- 本病は、今シーズン、欧米をはじめ、世界各地で高病原性鳥インフルエンザが大流行している中、我が国においても、25 道県 76 事例（殺処分対象羽数：約 1,478 万羽）で発生が確認され、過去最多だった一昨年の 52 事例（約 987 万羽）をすでに上回る異例のペースで発生しており、予断を許さない状況。
- 本県においても 6 事例の発生が確認され、約 400 万羽を超える家きんを殺処分する事態。
- 防疫措置については、県職員の緊急動員に加えて、市町村、農林水産関係団体や建設業協会等の協定締結団体など、県内の幅広い業界団体に動員要請。また、大規模農場での防疫措置においては可能な限り速やかに殺処分を実施できるよう自衛隊へ派遣要請を実施。
- 県内の家きん飼養者に対し、消石灰を配布し消毒を指導するとともに、改めて厳重に警戒するよう周知し、鶏舎の防鳥ネット等の点検、消毒の徹底や鶏舎毎の長靴の設置などの飼養衛生管理基準の遵守を指導。
- 発生農場への支援策として、殺処分した鶏の評価額分の手当金が国から交付されるとともに、経営再開資金等の融資の活用について支援。

《参考：県内における高病原性鳥インフルエンザ発生状況（令和4年度）》

区分	1 例目	2 例目	3 例目	4 例目	5 例目	6 例目
発生日	R4. 11. 4	R4. 12. 22	R5. 1. 9	R5. 2. 2	R5. 2. 3	R5. 2. 10
市町村	かすみがうら市	笠間市	城里町	かすみがうら市	八千代町	坂東市
種類	採卵鶏	採卵鶏	採卵鶏	ほろほろ鳥外	採卵鶏	採卵鶏
殺処分完了 (殺処分羽数)	R4. 11. 13 (約 102 万羽)	R4. 12. 24 (約 10 万羽)	R5. 1. 15 (約 92 万羽)	R5. 2. 2 (約 6 千羽)	R5. 2. 9 (約 111 万羽)	作業中 (約 115 万羽)
防疫措置 完了	R4. 11. 22	R4. 12. 25	R5. 1. 17	R5. 2. 5	作業中	作業中
移動制限区 域解除	R4. 12. 14	R5. 1. 16	R5. 2. 8	制限中	制限中	制限中

(2) 価格高騰対策について

- 生産資材の価格や電力料金の値上げにより農林漁業者の経営に大きな負担が生じている。特に、原料の多くを輸入に頼っている化学肥料や配合飼料の価格高騰が続き、農業者や畜産業者等の経営への影響は大きい。
- 県では、農林漁業者等に対し、国の肥料価格高騰対策やセーフティネット資金の活用促進に加え、肥料、飼料、電気料金等の価格高騰に対する激変緩和についての緊急対策を講じたところ。
- さらに、情勢の変化が著しい状況においても、本県の農業を持続的に発展させていくため、有機農業など化学肥料に依存しない循環資源農業への転換への取組や飼料の国産化、省エネルギー化の取組支援など、中長期的な視点で、より強い農業への構造転換を推進する事業を創設し対応してきたところ。
- 今後も、社会情勢や国の経済対策を注視しながら、農業の先進県として持続的な発展を図っていく。

農林水産分野における物価高騰対策一覽 (R4補正)

【農林水産部】

農林水産分野に対する迅速かつきめ細やかな支援を行うため、4回の補正予算により総額約23.5億円、**全12の対策事業を創設**。急騰した肥料・飼料・電気料金等に対する「緊急対策」に加え、より強い農業への「構造転換」を強力に推進していく。

肥料	<p>6月 100百万円</p> <p>いばらきオーガニック生産拡大加速化事業 【100百万円】 化学肥料・化学農薬を使用しない有機農業への転換を推進</p>	<p>9月 675百万円</p> <p>【国事業】 肥料価格高騰対策事業：化学肥料の2割低減の取組を行う農業者に対して肥料コスト上昇分の7割を支援</p>	<p>11月 346百万円</p>	<p>1月 1,225百万円</p>
肥料	<p>資源循環型農業構造転換緊急対策事業 【169百万円】 堆肥等の産業副産物を活用して、化学肥料の使用量を低減し、資源循環型農業への転換を図る</p> <p>儲かる産地支援事業【156百万円】 肥料や燃料の使用量を削減する生産体系への転換を図るために必要となる機器・設備の整備を支援</p>	<p>肥料価格高騰緊急支援事業 【330百万円】 国「肥料価格高騰対策事業」に上乗せ支援し、化学肥料の使用量低減を図る</p> <p>担い手確保・経営強化支援事業 (国) 【248百万円】 経営構造の転換等により経営の発展を図る担い手に対し、機械・施設導入を支援</p>	<p>【国事業】 配合飼料価格高騰緊急特別対策 R4.第3四半期の実質的な配合飼料コストを第2四半期と同程度の水準とするため、配合飼料価格安定制度に追加して6,750円/tを補填</p>	<p>配合飼料価格高騰激変緩和対策事業 【451百万円】 (拡充) 積立金の増額分 (400円/t) を補助</p>
飼料	<p>【国制度】 配合飼料価格安定制度： 輸入原料価格が直前1か年の平均を上回った際に発動し、2段階の仕組みにより生産者に補填される。 生産者は600円/tを基金に積立。(通常補填基金：国と飼料メーカーが積立)</p> <p>配合飼料価格高騰緊急特別対策 【190百万円】 積立金の増額分 (200円/t) を補助</p> <p>飼料国内自給化緊急対策事業【136百万円】 輸入飼料から国産飼料への転換を図るため、食品残渣等の飼料化や国産飼料の生産拡大を支援</p>	<p>【国事業】 配合飼料価格高騰緊急特別対策 R4.第3四半期の実質的な配合飼料コストを第2四半期と同程度の水準とするため、配合飼料価格安定制度に追加して6,750円/tを補填</p>	<p>【国事業】 配合飼料価格高騰緊急特別対策 R4.第3四半期の実質的な配合飼料コストを第2四半期と同程度の水準とするため、配合飼料価格安定制度に追加して6,750円/tを補填</p>	<p>【国事業】 配合飼料価格高騰緊急特別対策 R4.第3四半期の実質的な配合飼料コストを第2四半期と同程度の水準とするため、配合飼料価格安定制度に追加して6,750円/tを補填</p>
電気	<p>【国事業】 配合飼料価格高騰緊急特別対策 R4.第3四半期の実質的な配合飼料コストを第2四半期と同程度の水準とするため、配合飼料価格安定制度に追加して6,750円/tを補填</p>	<p>【国事業】 配合飼料価格高騰緊急特別対策 R4.第3四半期の実質的な配合飼料コストを第2四半期と同程度の水準とするため、配合飼料価格安定制度に追加して6,750円/tを補填</p>	<p>【国事業】 配合飼料価格高騰緊急特別対策 R4.第3四半期の実質的な配合飼料コストを第2四半期と同程度の水準とするため、配合飼料価格安定制度に追加して6,750円/tを補填</p>	<p>【国事業】 配合飼料価格高騰緊急特別対策 R4.第3四半期の実質的な配合飼料コストを第2四半期と同程度の水準とするため、配合飼料価格安定制度に追加して6,750円/tを補填</p>
その他	<p>R4補正 (農林予算) 合計 2,346百万円</p> <p>いばらきエネルギーシフト促進事業 6月補正 (新規) 【1,595百万円】 9月補正 (拡充) 【713百万円】 再生可能エネルギーの導入を促進し、事業者の負担軽減を図るとともに、県内産業におけるエネルギー転換 (農林水産事業者も対象) 《県民生活環境部予算》</p>	<p>【国事業】 配合飼料価格高騰緊急特別対策 R4.第3四半期の実質的な配合飼料コストを第2四半期と同程度の水準とするため、配合飼料価格安定制度に追加して6,750円/tを補填</p>	<p>【国事業】 配合飼料価格高騰緊急特別対策 R4.第3四半期の実質的な配合飼料コストを第2四半期と同程度の水準とするため、配合飼料価格安定制度に追加して6,750円/tを補填</p>	<p>【国事業】 配合飼料価格高騰緊急特別対策 R4.第3四半期の実質的な配合飼料コストを第2四半期と同程度の水準とするため、配合飼料価格安定制度に追加して6,750円/tを補填</p>

事業継続臨時応援金 11月補正 (新規) 【1,780百万円】
売上高が減少し、経営環境が特に悪化している農林水産事業者等に対し、臨時応援金を支給
《予算は産業戦略部でまとめて計上》